

月夜のファウスト

小さな池のほとりの、
小さな四阿^{あずまや}から始まった、
小さな演劇

—みなさん、突然ですが、独り芝居をやってみようと思い立ちました—

コロナ禍により一時多くの劇場が休館するなど様々な制約の中で、舞台美術、照明、音響すべてをそぎ落とし、串田のライフワークともいふべき「ファウスト」の独り芝居バージョンが2020年6月に上演され大きな反響を呼びました。演劇の原点に回帰し、小さなステージで繰り広げられる壮大な物語—。

今だからこそ、このミニマムで根源的なお芝居をどうぞお楽しみください。



【作・演出・出演】

串田 和美

Kazuyoshi Kushida

1942年東京・麹町生まれ。俳優、演出家、舞台美術家。まつもと市民芸術館総監督。松本市を拠点とした劇団・T Cアルプ主宰。

1966年、劇団・自由劇場(後にオンシアター自由劇場と改名)を結成。

1985-96年までBunkamuraシアターコクーン初代芸術監督を務め、コクーン歌舞伎やレパトリーシステムの導入で劇場運営の礎を築く。代表作に「上海パンスキング」「もっと泣いてよフラッパー」「夏祭浪花鑑」など。平成中村座での「法界坊串田劇場(くしだわーど)」などの演出も多数。

2000-11年まで日本大学芸術学部演劇学科教授を務める。

2003年4月、まつもと市民芸術館芸術監督に就任。信州まつもと大歌舞伎や、サーカスと音楽と演劇を散りばめた「空中キャバレー」など市民を巻き込んだ一大イベントを次々と発案し「街に溶け込む演劇」を根付かせてきた。

2011年にサイトウ・キネン・フェスティバル松本との共同制作「兵士の物語」に参加。

2006年「桜姫」「コーカサスの白墨の輪」で芸術選奨文部科学大臣賞、2007年「東海道四谷怪談北番」で第14回読売演劇大賞最優秀演出賞受賞。

2008年紫綬褒章、2013年旭日小綬章を受章。

2015年シビウ国際演劇祭でシビウ・ウォーク・オブ・フェイムを受賞。著書に「幕があがる」、「串田劇場—歌舞伎を演出する—」。

2022
5/24(火)

開場18:30 開演19:00

富士市文化会館ロゼシアター 小ホール

(富士市蓼原町1750番地)

入場料 (全席指定・税込)

一般 3,500円

学生 1,000円

※未就学児入場不可 ※学生券は25歳以下対象

チケット発売日

4月7日(木)10:00~(WEB・窓口 同時)

チケット取扱い

◇ロゼシアターホームページ <http://rose-theatre.jp>

◇ロゼシアター窓口(営業時間9:00~20:00)

◇ローソンチケット(Lコード/43082)ローソン・ミニストップ 店頭Loppi

※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください

※ロゼシアターでお求めの際には「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です。

お問い合わせ:ロゼシアター 0545-60-2500 (9:00~22:00)

主催:公益財団法人富士市文化振興財団

<ご来場のお客様へお願い>

※来館時はマスクをご着用ください。

※発熱および風邪等の症状がみられる場合は来館をお控えください。

※掲載内容を急ぎよ変更する可能性があります。最新情報はロゼシアターへお問い合わせください。